

# 日本産酒類の輸出促進会議 説明資料

---

平成25年11月  
観光庁

# 1. ニッポンを飲もう！日本の酒キャンペーン

- ◆ 平成25年10月～平成26年3月の6ヶ月間、我が国の国際空港（成田・羽田・中部・関西）で一斉に日本のお酒の魅力をPRし、訪日外国人の増加を目指す取組。
- ◆ 具体的には、空港の免税エリア内にキャンペーンブースを設置し、訪日外国人を対象に、日本酒・焼酎の試飲によるPRを実施。観光庁は、酒蔵ツーリズム推進の観点から外国人が見学可能な酒蔵情報等を紹介。

◆ 平成25年10月1日～31日までの外国人旅行客の利用状況：

4空港合計で約16,200人

成田空港（第1・2）	約5,600人、	羽田空港	約2,600人
中部空港	約5,500人、	関西空港	約2,500人

(注：実施主体は、日本酒造組合中央会及び各空港会社であり、国はキャンペーンの後援等で連携)



キャンペーン  
ブースと来客  
の状況  
(成田空港)



オープニング  
セレモニー  
(中部空港)



訪日外国人向け酒蔵  
ツーリズム紹介パン  
フレット  
(各空港)



キャンペーンブ  
ースでの試飲の様子  
(羽田空港)

オープニングセ  
レモニーでの舞  
妓さんによる振  
る舞い酒  
(関西空港)



### ◆お酒をテーマにした旅行商品化への取組

- 「官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業」として、青森県十和田市、山形県南陽市、岐阜県高山市、愛知県半田市、京都府京都市伏見区、兵庫県播磨地域、佐賀県鹿島市では、旅行商品化に向けた取組みを実施。
- (例1：佐賀県鹿島市)
  - 平成25年9月7、22日にモニターツアーを実施。
  - 鹿島市内の酒蔵巡り、祐徳稲荷神社（日本三大稲荷）の参道散策（権宮司の案内付）、地元旅館での有明海料理と鹿島の酒のもてなし、等で構成されるツアー。
- (例2：兵庫県播磨地域)
  - 平成25年10月26日にモニターツアーを実施。  
平成25年12月7日にも実施予定。
  - 酒米「山田錦」の生誕地で最高ランク受賞の田圃見学、限定公開の酒蔵見学、播磨の食（瀬戸内の幸、醸造文化）、等で構成されるツアー。



(参考) 酒蔵ツーリズム推進協議会は平成25年3月26日に発足し、平成25年12月8日に京都で第2回協議会を開催予定。

### 3. 日本産酒類の魅力発信を通じた訪日プロモーションについて(平成25年度)

#### 英国: 欧州最大の旅行博へのビジット・ジャパンプース出展

開催日時: 2013年11月4(月)~7日(木)4日間  
出展者: 地方自治体、旅行会社、ホテル、航空・交通事業者、メディア等  
出展者数: 4,807団体 ※ 4,842団体(昨年実績)  
来場者数: 約35,000人 ※ 28,780人(昨年実績)  
事業内容: 欧州最大規模の旅行博、WTM2013へビジット・ジャパンプース出展。ブース内において、日本酒ソムリエによるレクチャー&利き酒を実演し訪日旅行を促進。  
ビジット・ジャパンプースでの日本酒試飲の様子



#### 米国: 日本産酒類情報発信

Facebookでの情報発信

開催日時: 通年  
事業内容: 日本産酒類へ関心の高い米国市場においては、特にFacebook等SNSやウェブを通じた情報発信を活用。また、2014年3月には、ジャパンウィーク(ニューヨーク)における訪日促進イベントにて、日本酒試飲イベントを実施予定。



#### ASEAN: 酒蔵見学(旅行会社招請)

開催日時: 2013年5月11日(土)~5月16日(木)6日間  
招請者数: インドネシア及びマレーシアの旅行会社計9名  
事業内容: ASEANを対象とした旅行会社向け視察招請事業の一環として、郡上エリア(岐阜県)において酒蔵見学を行程に取り入れた旅行商品造成を促進。

平野醸造酒蔵見学の様子



#### 今後実施予定の日本酒関係イベント例

- 2013年11月16日(土)ソウル、11月23日(土)水原、11月24日(日)大田、11月29日(金)~12月1日(日)仁川
- ・韓国4都市において、東北・北関東の風評被害対策として、食品の安全性や魅力を発信するため、各県の銘酒の試飲ブースコーナーを展開予定。
- 2014年1月11日(土)~1月19日(日)
- ・ドイツ最大の旅行博CMTへのビジット・ジャパンプース出展に合わせ、現地メディアを対象とした訪日セミナーにて、日本酒の試飲を実施予定。
- 2014年1月22日(水)~1月26日(日)
- ・イタリアミラノ国際観光見本市に在外公館と連携しビジット・ジャパンプースを出展し、日本酒の試飲を実施予定。